

翠翔

【学校教育目標】

夢に向かって 輝いて
～「夢」「気づき」を大切に～

1月 

豊成中学校3年部

学年通信

No.44

平成31年1月16日

本年もよろしくお願ひいたします



新しい年が明けました。冬休み中も生徒たちは学習相談や自主学習に真剣に参加し頑張りました。一足早く、前期選抜希望者も受検に向けて目の前のやるべきことと向き合い、合格に向けて努力を続けています。「できる努力は全てやり、自信をもって本番を迎えたい！」という意気込みが感じられます。これもご家庭での教えや励ましがあってこそです。ありがとうございます。今後とも、ご協力よろしくお願ひいたします。

実力テスト⑦（1月7日実施）の結果をお知らせします！

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
平均点	66.4	75.3	58.8	78.4	64.9	343.8
最高点	93	97	89	95	88	399

次の実力テストは1月17日(木)です。この後、18日(金)の進路指導委員会で、これまでの点数の推移を基に生徒一人一人について現在の状況を検討します。それを受けて、個々に応じて三者面談を実施します。ご協力よろしくお願ひいたします。

☆ニガテの克服をどうするか?!☆

実力テストを回数行っていくうちに、苦手教科や分野の出来具合で結果が左右されることが気になっていませんか？また、だからといって苦手なものに手を付けず、後回しにすればするほど、自分に焦りが生じてしまいます。それを防ぐにはどうするか・・・「少しずついいので毎日取り組むこと」が大切です。(例えば、机に向かってから最初の30分は必ずその教科や分野をやる・・・等)「今までやらなかった。」「苦手だからと逃げてきてしまった。」という心の負い目が焦りを生むのです。さあ、最後のチャンスを生かしませんか。今なら、学習したことが3月の受検日まで深い記憶として残りやすい絶好のチャンスの時なのですよ。



「冬休みを振り返って」

3年生代表

草薙 匠 さん



僕の今年度の課題は、苦手教科でなかなか平均点以上を取れず、点数が伸び悩んだことでした。そこで、今年の冬は苦手教科をなるべく毎日やり、やるときもだらだらやらないようにしようと決めました。

そして冬休みに入りました。最初のうちは解くスピードが遅く、量をこなすことができませんでした。分からない問題でも何か書こうとして無駄な時間を使ってしまい、あまり効果的な勉強をすることができなかつたからです。そこで、やり方を変えてみました。僕が実践してみたのは、一定時間考えても解けなかつた問題は一度とばして、その日の夜か次の日の朝に解くことと、必ず問題を全部読むことです。僕は今まで問題を解くときに、問題文をさらっと読んでケアレスミスをしたり、焦って無駄に時間を使ってしまい、後で問題をよく見たら、解けるはずの問題を落としてしまつたりしたことがとても多くありました。冬休み中のテストでは、いつもより落ち着いて解くことができたので、ケアレスミスを少なくすることができました。しかし、まだ問題を読むスピードが遅かつたので、本番までには素早く読めるようにしたいです。

冬休みをふり返っての今年の抱負は、生活のリズムを崩さず、もう少し長い時間勉強することです。今は、受検勉強の手を抜けない大切な時期です。そして同時に、体調管理もより重要になってきます。だから、自分の生活リズムをくずさないようにしたいです。これからの目標は、全教科の得点を最低5点以上上げることです。そのために、冬休みと同じように苦手教科は毎日、そしてその日やった授業の振り返りは次の授業までに欠かさず行い、しっかりと力を付け、志望校合格を目指してがんばりたいです。